

下北地区統合校の校名案候補及び提案理由

No.	校名案候補	校名案候補とした理由
1	おおみなどむつ こうとうがっこう 大湊むつ高等学校	<p>大湊高校は80年、むつ工業高校は60年と伝統、歴史ある高校であることを考え、「大湊」、「むつ」の名を残し、これまでの歴史、伝統を継承しつつ地域と共に新たなる歴史を作っていくと考える。</p> <p>最もわかりやすく、地元地域にも受け入れやすいものと考える。</p>
2	しもきたそうごう こうとうがっこう 下北総合高等学校	<p>「大湊」と「むつ」の名を残すのではなく、短くわかりやすく「下北」とした。</p> <p>総合学科と工業科が一緒になることから「総合」という表現がよいのではないか。</p> <p>下北にある唯一の普通、商業、工業の専門学科のある総合高等学校であり、その中で自分の夢や可能性を信じ、進路選択を考えていく。また、下北にある企業や地域とつながり連携していく高等学校であると考える。</p>
3	むつおおみなど こうとうがっこう むつ大湊高等学校	<p>同窓会役員会で出た案であり、両校の校名を残した形としている。</p> <p>「技術と総合力の融合」</p> <p>「むつ」と「大湊」という2つの地名は、地域住民にとって非常に馴染み深いもので、学校名にこれらをそのまま残すこと、「我が町の学校」「地域のシンボル」としての存在感を維持できると思う。</p> <p>また、地元企業や行政、地域住民との信頼関係の継続にもプラスになり、特に、進学・就職の場面でも「地元で根付いた学校」として認識されやすくなると思う。</p> <p>両校の名前を尊重する形で残すため、卒業生や関係者にとっても心理的な抵抗が少なく統合に伴う変化の中でも、「昔の面影がある」「自分の出身校が受け継がれている」という連續性を強く感じ取ることができると思う。</p> <p>全国的に「むつ」「大湊」は知名度がある。また、両校の生徒や関係者にとって母校がなくなるのは寂しいなどという思いがあると考えられるため。</p>

		<p>自分が大湊高校の卒業生であり旧職員でもあるので、多くの大湊高校関係者から大湊高校の今後について話を聞いたが、卒業生・旧職員のほとんどが校名に「おおみなど」を残してもらいたいと言っている。</p> <p>むつ工業高校の卒業生・旧職員も同様と考えられる。</p> <p>この2つの理由からどちらか一方の名を残すことは、残らなかった名称の関係者から相当の抵抗があると考えられる。</p> <p>この2つの高校の名をつけるに、「むつ」を先にした方が言葉の座りが良い。</p> <p>全く新たな名をつけたとしても、10年、15年先の地域の生徒数を考えると、更なる統廃合の動きが予想され、再度の校名変更もあり得ることから、今回は、これまでの2つの学校の歴史を重んじて「むつ」と「大湊」の両方を残すべきだと思う。</p> <p>地名は入れた方が良く、わかりやすい校名が良いと思う。</p>
4	むつおおみなど こうとうがっこう MUTSU大湊高等学校	<p>後援会の会議等で関係者の意見を聞いたところ、校名に「大湊」を残してもらいたいとの要望が多くかった。</p> <p>「大湊高等学校」の名称を引き継いでもらいたいと思うが、統合する2校のことを考えた場合、校名である「大湊」と「むつ」を残し、校名とすることが望ましいと思う。</p> <p>伝統や募集人員から考えると「大湊」が先になるが、地名からすると逆に最初に「むつ」で後に「大湊」とした方がしっくりくる。</p> <p>宮下知事が掲げる「青森新時代」や世界に羽ばたくグローバルな人材育成を望む声も多いことから、固定概念にとらわれず、最近の時代の流れであるローマ字表記（会社名、グループ名、商品名等）を取り入れ、「むつ」を「MUTSU」または「mutsu」とローマ字表記とする案を提案した。</p>

No.	校名案候補	校名案候補とした理由
5	むつおおみなとかいふう こうとうがっこう むつ大湊快風高等学校	<p>むつ工業高校は、開校当初、開設促進協議会発起人会等や同協議会を結成したことや校章のデザインから地元の期待の大きさを窺い知ることができる。</p> <p>大湊高校は、オリンピック選手の輩出や野球部の活躍が印象に強く、下北地区を代表する伝統ある高校である。特に脇野沢地区、川内地区の住民の思いが強く引き継がれている。</p> <p>これらを踏まえ、統合校の校名に「むつ」、「大湊」の名称を継承したい。</p> <p>新島襄氏の考える教育と地域の発展を教育の力で推し進めたいという我々関係者の思いが重なる。教育に対する志を貫きとおした新島氏。統合校が新たな教育環境、教育力を地域と共に築き上げようとしている今と様々な夢や思いを抱きながら海を渡った新島氏の航海が類似する。その航海を支え続けたのが洋式帆船「快風丸」である。この帆船の存在なくして、日本の教育の近代化はなかったことから、「快風」を付した。</p>
6	むつおおみなとそうごうこうか こうとうがっこう むつ大湊総合工科高等学校	<p>むつ工業高校の「むつ」と大湊高校の「大湊」を組み合わせ、両校名を残したい。</p> <p>多彩な学びを実現する学校ということで「総合」を付した。</p> <p>さらに工業高校の継承校であることを示すために「工科」を添えた。</p>
7	むつそうごう こうとうがっこう むつ総合高等学校	<p>高等学校の名には、地名を入れるべきと考え「むつ」とした。</p> <p>大湊高校とむつ工業高校の統合ということより、「総合」という名をつけることがふさわしいと思った。</p>
8	むつそうごうぎじゅつ こうとうがっこう むつ総合技術高等学校	<p>総合学科を主軸にしつつ、「技術」という言葉で工業科を表現し、地域名を冠することで広域性をアピールできると考える。</p>

No.	校名案候補	校名案候補とした理由
9	むつちゅうおうこうか こうとうがっこう むつ中央工科高等学校	<p>各地域に中央高校が存在するように、立地の観点から大湊高校、田名部高校の間にあることを踏まえ「中央」を入れた。</p> <p>下北地方唯一の工業科の課程もあり、就職を目指す子供たちが関係企業での即戦力となれる実践的な技能技術を学べる要素を持つ「工科」も加えた。O Bとして工業に類する名前は残したいと思っている。</p>
10	むつみらいそうごう こうとうがっこう むつ未来総合高等学校	<p>むつ工業高等学校・校名の「むつ」、大湊高等学校・総合学科の「総合」(全人格的成長の意を込めて)</p> <p>地域の未来を担う学校となってほしいとの願いを込めて「未来」</p> <p>むつ市の地域性を大切にしながら地域とともに歩み、次代を担う若者達が未来に向かって力強く羽ばたく力を育む学校</p>